



ご あ い さ つ

代表取締役社長 安井 貞三

新年明けましておめでとうございます。

皆様方には、お健やかに新春を迎えられたことと、心からお慶び申し上げます。

2000年という新しい年代の年頭に「日新電機技報」を発行するに当たり、一言ごあいさつ申し上げます。

最近の景気動向を見ますと、住宅投資や個人消費を中心に、景気は底を打ったという見方もありますが、民間設備投資は依然として低迷しております。私共を取り巻く経営環境は、当面厳しい情勢が続くものと思われまます。こういう中であって、過去から受け継いできた「優れた技術・製品をもって社会の発展に貢献する」ことを理念として社員一同、鋭意、技術開発に取り組んでおります。新しい分野にもチャレンジし、お客様に満足していただける努力を続けたいと念願しております。

太陽光発電や風力発電、コジェネの連系装置、セキュリティを中心とした情報・通信分野、イオン注入装置や成膜技術を中心とした半導体・成膜関連、照射サービスを中心とした電子線加速装置等々の飛躍的発展に注力していくつもりです。

また、受変電設備や監視制御装置という当社のコア・ビジネスについては、ソフトとハードの両面から強化して、どこにも負けないよう基盤の強化に努める所存でございます。

コンデンサ，変成器，リアクトルといった単品製品については，世界の重電機器メーカーにも売れる実をつけるべく，グローバル展開をしていきたいと考えております。

今回，ここに，1999年の成果を取りまとめた技報をお届けいたしますので，皆様方の忌憚のないご意見，ご指導をいただければ幸甚に存じます。

永年培ってまいりました技術力に立脚して，さらなる研鑽を重ね，皆様方のお役に立つ製品やシステムをご提供してまいる所存でございます。

何卒，本年も倍旧のご指導，ご支援の程，重ねてお願い申し上げます。

2000年 元旦